

今しか聞けない！

〔市民活動フェア 2011〕参加企画

＜2日連続＞神奈川証言集会

資料代 500 円（学生は無料です）

＜日時＞ 3月12日（土）13時開会（11時00分よりビデオを上映します）

＜場所＞ かながわ県民センター305（横浜駅から徒歩5分） 裏面に地図

証言：「私の戦争体験と、若者たちに語り遺したいこと」

証言者：坂倉 清さん（90才：中国帰還者連絡会会員）

助言者：高柳美知子さん（「人間と性」教育研究所所長）

解説者：姫田光義さん（中央大学名誉教授・撫順の奇蹟を受け継ぐ会代表）

・千葉県の貧しい農家で育ち、下級兵士だった坂倉さんは中国山東省で、命令の趣くままあらゆる残虐行為に手を染めてしまいました。自らが手をかけた中国人被害者への供養と反省のために死ぬまで証言を続ける、と仰っています。

＜日時＞ 3月13日（日）13時開会（11時00分よりビデオを上映します）

＜場所＞ かながわ県民センター 11階コミュニティ1（横浜駅から徒歩5分）

証言：「帰国後の後半生を語る」（撫順戦犯管理所から帰国54年）

証言者：絵鳩毅さん（97才：中国帰還者連絡会会員）

解説者：石田隆至さん・張宏波さん（大学教員）

・間もなく98才を迎えられる絵鳩さんは、5年間の軍隊生活の内4年間に中国での戦争を体験して、北朝鮮で敗戦を迎えました。その後、シベリアへ5年間抑留され、さらに中国に移管されて撫順戦犯管理所に収容されました。「15年の空白」は帰国後の絵鳩さんに大きな困難をもたらせました。今回は、「帰国後の後半生を語る」と題して、はじめて帰国後の54年間のお話をさせていただきます。

*高齢の証言者の体調の事情によってはビデオ証言とさせていただく場合もあります。

＜主催＞ 撫順の奇蹟を受け継ぐ会神奈川支部（連絡先 松山 Tel 046-871-4263）

市民活動フェア2011とは

開催日 2011年3月12日(土)～13日(日)

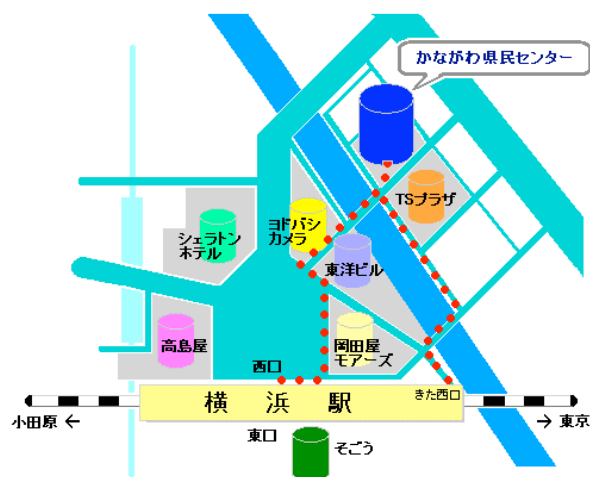
場 所 かながわ県民センター

「市民活動フェア」は、かながわ県民活動ボランティアセンターを主として活動の拠点として活躍している、市民活動に関わる方々の「お祭り」です。

2011年3月の開催で14回目を迎えます。

主催 市民活動フェア2011実行委員会 協力 かながわ県民活動サポートセンター

市民活動フェア2011には53団体(12/17現在)が参加しています。



97才 現役の証言者「絵鳩 毅」さん 著

小冊子「撫順戦犯管理所の6年」—監獄が自己改造の学校だった—

第2弾□小冊子「シベリア抑留の5年」~強制労働、慢性飢餓、極寒、

人間不信の世界~

当日、販売します 各1部400円